

2022-23 年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「八重山の未来のために行動しよう」



イマジン ロータリー

2022-23 年度 RI 会長テーマ
RI 会長：ジェニファーE. ジョーンズ

地区ガバナー：嶋村 文男

◇ ガバナー信条 ◇

“Take Action for Rotary Future”

“Reach Out for World Peace”

“ロータリーの未来のために行動しよう”

“世界の平和のために手を差しのべよう”

今月のロータリーレート 1\$¥136

島の水景 ～石垣島の水散策～

【 新生井戸 】

「新川」の地名の発祥にもなっているアラムリナーと称される降り井戸。霊泉の伝説など歴史的にも重要な背景を持つ井戸とされており、すり鉢状になっています。琉球石灰岩の切り石が急勾配な階段状に組み、湧水口まで降りていけます。現在はほとんど湧水は見られません。



7 月のプログラム

7/27(水) 嶋村文男ガバナー公式訪問&フォーラム

ガバナー補佐：仁開 一夫 会長：大浜 勇人 副会長：前原 博一

幹事：松田 新一郎 副幹事：今西 敦之

公共イメージ委員長：山下 暢 SAA・出席委員長：大本 綾子

例会日 水曜日 12:30～13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島 (0980) 83-3311
TEL/FAX (0980) 83-2917
E-mail ishirotdary@ninus.ocn.ne.jp

☆総会員数: 53名 (名誉会員2名・出席免除会員2名)
 ☆出席義務会員数: 49名
 ☆出席人数: 27名 欠席人数: 12名 出席率: 55.10%
 <<司会進行: 玉城 一吉>>
 ☆ロータリーソング: 奉仕の理想 ロータリアン行動規範
 ☆ソングリーダー: 玉城 力
 ☆ゲ ス ト: 中田光昭様(石垣海上保安部長)

会長挨拶 大 浜 勇 人



今日の新聞を見てもみると、豊年祭が行われたと言うことで例年より縮小した形で執り行われましたというようなことが載っておりました。毎日のように県のコロナ感染者が 2000 人 3000 人と出ており、石垣島も 200~300 名とか出ていますけれども、これから非常事態宣言というような事はないと思いますが、基本的には感染対策にはきちんと気をつけて、たくさん美味しいものを食べて軽く運動するとかで抵抗力が上がっていくと思いますので、体に気をつけていきましょう。今日は嬉しいことがありました。黒島の下地さん、牛飼いの方ですが彼の子牛が竹富町内から県代表で出されたということです。何が嬉しいかと言うと親父の絡みで幼なじみなんです。家族ぐるみでお付き合いさせていただいていますが、ここ 2、3 年は全然会えていなかったの、新聞紙面で活躍を見ることが出来てとても嬉しかったです。本日は、海上保安部長、中田光昭様に石垣海上保安部の業務についてということでございます。新聞でも毎日のように外国船が入ってくるというニュースがありますので、皆さん興味があると思います。石垣島のために頑張ってもらっている皆さんですから大変興味津々だと思います。今日はよろしく願いいたします

☆ 副幹事報告・今西 敦之 ☆

先週の例会において、ポリオ T シャツ購入者にサイズを聞いて回っていただいたのですが、例会の出席人数と T シャツ購入者の人数が合っていない、誰がどのサイズで何枚なのか分からない状況です。すでに Slack で返信していただいている方以外は、申し訳ございませんが、Slack の事務局のお知らせ、または各自から事務局宛に、サイズと枚数をお知らせください。地区大会の締切が迫っております。今年度は仁開ガバナー補佐を輩出しているクラブでございます。どうぞたくさんの会員のご参加をお待ちしております。9/10(土)が本会議となっておりますので宜しくお願いいたします

☆ 会員・委員会からの報告 ☆

仁開一夫ガバナー補佐: 昨日、那覇 RC のクラブ協議会に参加しまして、そのあと例会で卓話をしました。夕方からは少人数の懇親会を開いて参りました。那覇 RC はさすがにいろんな方がいて、沖縄県の商工会連合会会長の米須さんから、パスト会長の上勢頭さんに宜しく言ってくださいということで言付けを預かりました。日本トランスオーシャン航空の執行役員の喜納さんから玉城君に宜しくお伝えください、それとカヌチャリゾートの白石代表取締役、彼は森田さんの友達です。今日はまた 15 時から Zoom 会議をして明日はコザ RC へ行ってクラブ協議会です。以上報告します。

☆ ゲスト卓話: 中田 光昭 様 ☆ (石垣海上保安部長)

テーマ: 海上保安部の業務について

本日こういうような我々の仕事について説明させていただく機会を設けさせていただいて本当にありがとうございます。今日は 7 月 20 日何の日か皆さんご存知ですか? 海の記念日です。今は祝日で海の日と言う名に変わっておりますけれども、もともとは 7 月 20 日は海の記念日でございます。皆さんのご関心は尖閣諸島のことが関心多いと思います。いま石垣海上保安部長として 4 月から勤務しておりますが、その前まで那覇にありますが第十一管区海上保安部、領海区域として尖閣に携わってきましたし、その 2 年ほど前東京霞ヶ関で室長と言う形で勤務していました。一応一通りは知っているつもりではありますがけれども、ただいかにせん中身につきましては特に警備の内容については、お話しするわけにはいかないという部分はお承知おき願いたいと思います。あさづきという船がありますが、石垣海上保安部所属の船になります。昨年の 11 月に就航したばかりの船でして、海上保安部の中で最も大きい 6500 トン級の長さ約 150 メートルになります。石垣海上保安部にはなかなか大きい船というのはいままでなかったんですが、この船が来ていろいろな業務に当たることができるということで非常に期待している船でございます。第十一管区海上保安部のなかの一保安部としておりまして、八重山列島および尖閣諸島が属する石垣市、竹富町、与那国町を管轄し、その周辺海域を担当水域としています。海上水域として活動している大きさでいうと九州にすっぽり収まるというふうなイメージを考えていただければ分かりやすいと思います。担任についての特徴と言うものをまとめております。一つ一つ説明させていただきますとまず 1 つ目、与那国島と台湾の距離わずか 110 キロその他台湾との国境に中国との国境というところと尖閣諸島、これを管轄しているというのが特

徴でございます。2 つ目、日本海域の航路というところがございますけれどもフィリピンだったり台湾だったり中国であったり、そこと日本を結ぶ入り口に位置しております。3 つ目。これは言うまでもないですけれども、豊かな漁場を守るマグロを中心とした漁業支援があります。外国漁船も接近しておりますので、そういったものの取り締まりですとか、日本漁船の安全確保に力を入れなければいけないというところがございます。四つ目。豊かな海域の自然。海もきれいです、陸でも海でも非常に大きな観光資源がございます。年間多くの方が訪れています。それに伴っていろいろな業務が発生いたします。5 つ目。八重山のなかでも 12 の有人離島がございます。生活するうえで非常に浅い海域をフェリー等で移動しなければいけない、それがなければ生活もできないというところがございますので、その安全確保するのも我々の重要な業務でございます。最後に台風の進路、毎年突然の台風が発生しておりますが、自然災害が発生するようなことがあれば、それも私たちの業務になってまいります。今の所属船なんです、巡視船 15 隻常備しております。それより一回り小さい巡視船が 2 隻、もっと小さいのが 1 隻、18 隻の体制でございます。特徴的なのは 15 隻のうちの 10 隻というのは、尖閣領海警備の最前線基地としております。通常であれば一艇について固定のクルーというのはどこの船でも当たり前なんです、たけとみ、なぐら、かかびらの 3 隻に関してクルーの数は 1 つ多い 4 クルーで運行しております。これはどういうことかという、人間は仕事をすると休まなければいけません。船はしっかり整備していればしっかり呼吸さえしていれば文句も言えません。例えばたけとみが帰ってきました。呼吸等々を済ませれば、すぐに乗ったクルーは休みに入り、入れ代わりに違うクルーが乗ってたけとみを運行するという、効率的なやりかたをしています。船としては 10 隻ですけども、クルーとしては 12 隻に相当するという効率運航というのが尖閣警備に求められるというところがございます。それ以外にも先ほど紹介しました、あさづきですとかはてるまとか、あとは小さい船で沿岸を中心に仕事をしているところがありますけれども、ただこれは尖閣専従船ではないんですが、今の実態を踏まえて業務としては少なくとも大型船はほとんど尖閣のほうに従事しているというのが現状でございます。船の勢力に組織を加えますと今現在 693 名と言う人数を抱えています。尖閣諸島のおさらいになります、尖閣諸島とは、魚釣島、北小島、南小島、久場島、大正島、沖の北岩、沖の南岩、飛瀬などの総称を尖閣諸島と言っています。位置的には日本のなかで尖閣諸島に最

も近いのが石垣島で 170 キロの距離になります。170 キロという距離は、台湾と全く一緒の距離です。中国大陸はその倍、さらに沖縄本島になるともっと遠いという位置関係になります。尖閣諸島で何かあった時にすぐに駆けつけなければいけないといった時には、石垣島から駆けつけるというのが最も早く効率的といってやはりそれなりの整備を石垣島に置いておく必要があると考えています。平成 24 年の 9 月に島のうちのほとんどが国所有だったんですが、民間所有であった魚釣島、北小島、南小島、これを国が保有しました。どういう関係か分かりませんが海上保安庁が保有しました。その時から中国船が活発になってきたという現実がございます。

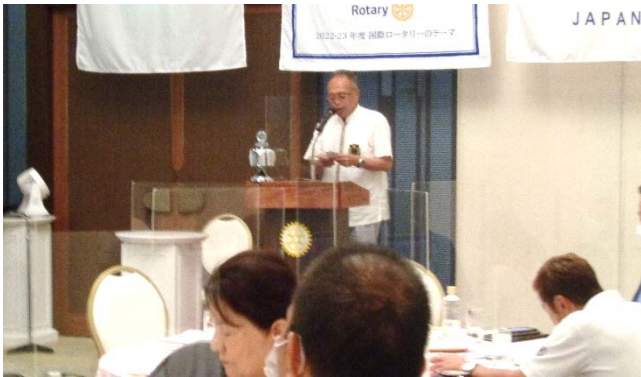
ここからは尖閣から離れます。安全確保のための部分ですとか、銃器、薬物の取締りですとか、国内法に基づいて冷静かつ毅然と領海警備業務を遂行しております。

やはり地元の皆さんは、きれいな海をきれいにするという意識が非常に高いです、官民一体となって八重山環境ネットワークというのを設置いたしました。年に 3 回程度、資材を持ち寄って海岸清掃活動ということもやっております。やはりマリンレジャーも非情に事故が多いということで、学校を回って安全教室みたいなものをやったり、具志堅用高象にライフジャケットをかけて、皆さん海に出る時には、ライフジャケットを着ましようという活動をしたり、警察の皆さん、消防の皆さん、海のボランティアの皆さんと一緒に海域パトロールをして、観光客マリンレジャーの方たちに注意喚起をしているというところがございます。石垣と西表の間の珊瑚は、日本で最大のサンゴ礁ですけども、非情に浅瀬が多い、しかもその浅瀬の中に有人の離島も多いということで、航行船舶の安全を確保するため立標や灯標の新設及び既設の立標の夜標化を進めてきました。船の航路を安全にしていかなければいけないということで仕事しています。コロナでだいぶ少なくなってはきてはいるんですけども、八重山のビジターズビューロー、八重山教育旅行誘致委員会さんたちと協定を結びまして、修学旅行生たちが来られた時に、ただ綺麗だね、楽しかったねで終わるのではなく、尖閣諸島だったり我々の海上警備の状況だったり、それも修学旅行の一環として可能な限り、業務講話を行ったり、船の見学を行ったり、ということをして、理解を深めてもらうことをしています。我々の業務である尖閣諸島をしっかり守るとともに、また地域の皆さまの安心安全を見届けるための活動をしていきたいと考えています。

ありがとうございました。



～ 例会風景 ～



中田光昭様 卓話ありがとうございました。

本日のニコニコ:

- ☆大浜勇人氏: 中田光昭様、ゲスト卓話ありがとうございました。
- ☆上勢頭保氏: 豊年祭も終わり、コロナ終息を祈りました。本日の卓話、中田海上保安部長ありがとうございました御座いました。
- ☆前木繁孝氏: 玉城一吉さん、本日初進行、名司会でした。
- ☆今西敦之氏: 暑中お見舞い申し上げます。
- ☆新川正人氏: 中田保安部長様 卓話ありがとうございました。

◆BOX ¥5,000 (累計 ¥59,000) ◆コイン ¥0 (累計 ¥0) 合計 ¥59,000



櫻井 浩一氏 5日 (火)

松林 豊氏 25日 (月)



ロータリーとポリオ

ポリオとは

ポリオ(急性灰白髄炎)は、ウイルス感染によって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く、「小児まひ」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なり、ポリオは根絶が可能です。

ポリオの現状

1988年にロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリオの症例がありました。現在、ポリオの発生率は99.9%

減少しており、野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。ロータリーとパートナー団体によるポリオ根絶活動のおかげで、身体まひとならずにすんだ人の数は推定約1940万人、命を落とすことのなかった人の数は推定150万人以上に上ります。ポリオ根絶活動のために築かれたインフラは、ほかの疾病(新型コロナウイルスも含む)の治療と予防にも利用されており、ほかの公衆衛生分野にも長期的なインパクトをもたらしています。

課題

ロータリーとパートナー組織は、ポリオ根絶の実現に向けて大きく進展してきました。しかし、症例を完全になくすには、さらなる前進と粘り強さが必要とされます。アフガニスタンとパキスタンでは、政情不安、人口移動、地理的要因、場合によってはワクチンの拒絶や誤解といった課題に直面しています。十分なりソース、政府の全面的支援、遠隔地での活動を可能とするテクノロジーがあれば、これらの地域からもポリオを根絶できると私たちは信じています。

10月23日(日)は、2580地区が一斉に募金活動します。皆様のご協力をお願い申し上げます。